

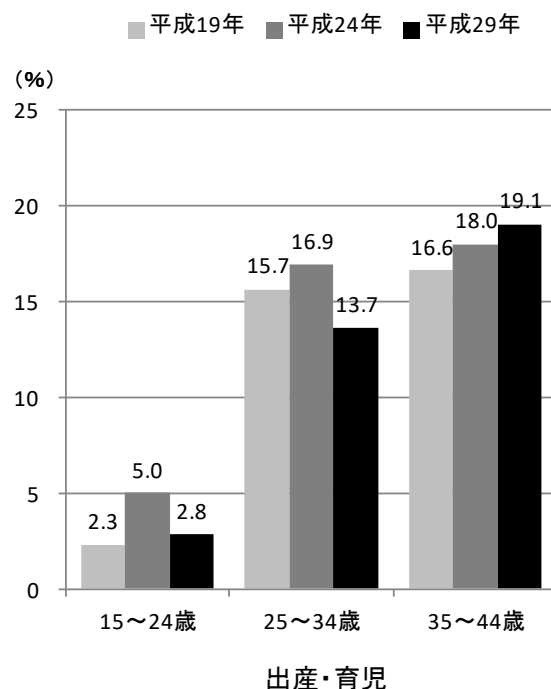
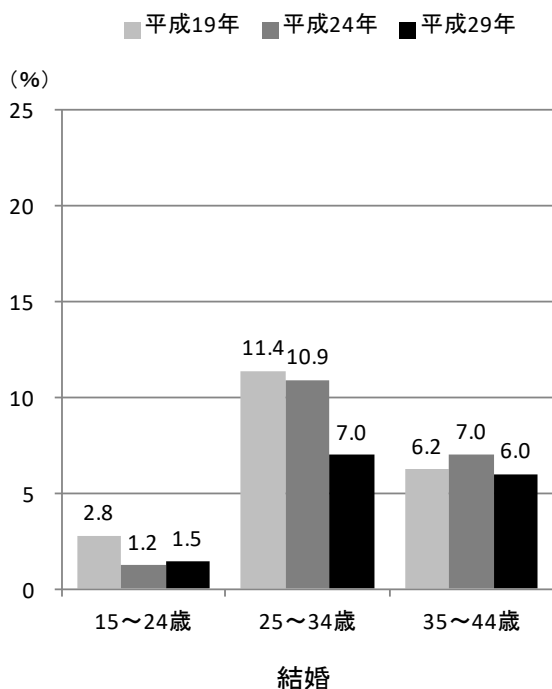
I 働く場における女性の活躍

I-6 育児や介護等を理由とする離職者に対する再就職支援

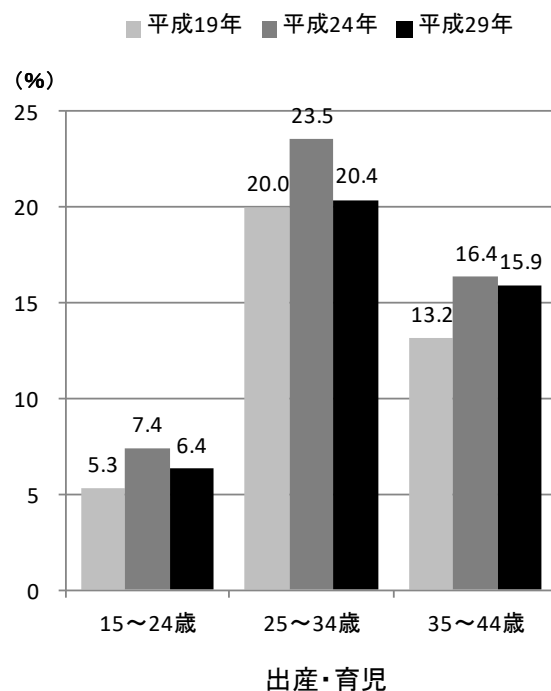
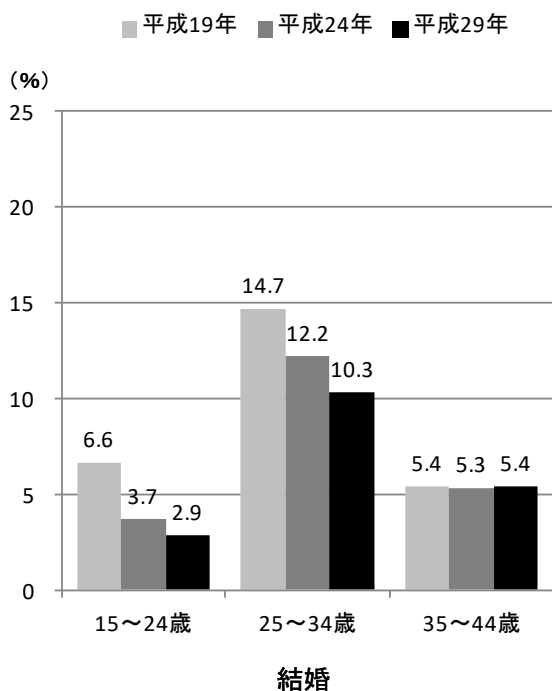
1. 結婚又は出産・育児を理由に離職した若年女性の割合

平成 29 (2017) 年就業構造基本調査によると、25～34 歳で離職した女性のうち、結婚又は出産・育児を理由に離職した人の割合は都で 20.7%、全国で 30.7%である。また、35～44 歳では都 25.1%、全国 21.3%である。

図表 I-6-1 結婚又は出産・育児を理由に離職した若年女性の割合（都・全国）
＜都＞



＜全国＞

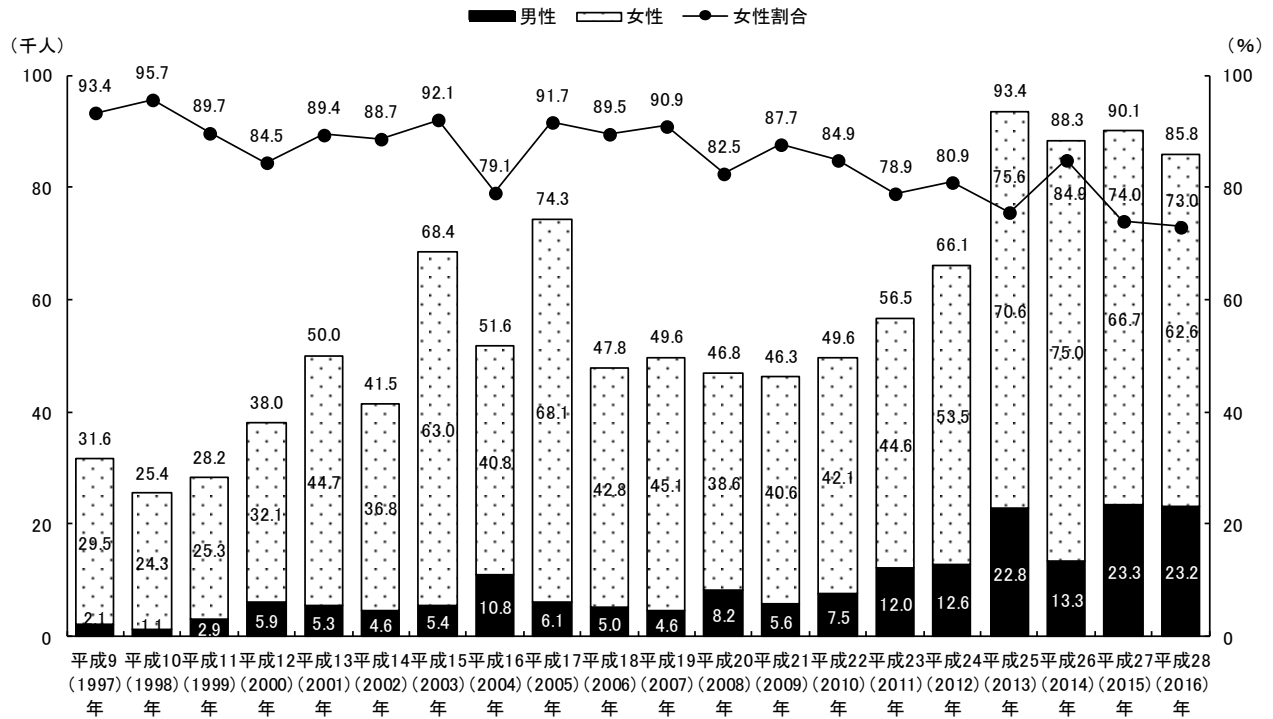


資料：総務省「平成 29 年就業構造基本調査」

2. 介護を理由とする離職者と女性の割合

介護を理由とする離職者数は、平成 18（2006）年以降 4 万人台後半で推移していたが、平成 23 年（2011）年以降急増し、平成 28（2016）年では 8.58 万人となっている。
 介護を理由とする離職者の女性割合は平成 19（2007）年までは 90%前後であったが、それ以降は減少傾向にあり、平成 28（2016）年は 73.0%となっている。

図表 I－6－2 介護を理由とする離職者と女性割合の推移（全国）



資料：厚生労働省「雇用動向調査」（平成 28 年度）